

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【公開番号】特開2018-64629(P2018-64629A)

【公開日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2016-203367(P2016-203367)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月9日(2019.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域を前面に有する遊技盤と、

前記遊技領域を囲むように前記遊技盤の前面から起立した内レール部と外レール部とを有し、これら内レール部と外レール部の間に遊技球が通過可能な案内路を形成するガイドレールと、

前記内レール部のうち前記遊技盤の前面と略平行な面に設けられ、遊技球に取り付けられた糸を挟み込んで捕捉するか又は切断するための不正防止部と、を有することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記不正防止部は、前記内レール部の端部に配置され、前記遊技領域に進入した遊技球が前記案内路へと逆戻りすることを規制する球戻り規制部材に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第1の手段は、遊技球が流下可能な遊技領域を前面に有する遊技盤と、前記遊技領域を囲むように前記遊技盤の前面から起立した内レール部と外レール部とを有し、これら内レール部と外レール部の間に遊技球が通過可能な案内路を形成するガイドレールと、前記内レール部のうち前記遊技盤の前面と略平行な面に設けられ、遊技球に取り付けられた糸を挟み込んで捕捉するか又は切断するための不正防止部と、を有することを特徴とする遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0007】**

第2の手段は、前記不正防止部は、前記内レール部の端部に配置され、前記遊技領域に進入した遊技球が前記案内路へと逆戻りすることを規制する球戻り規制部材に設けられていることを特徴とする第1の手段に記載の遊技機である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】